

野菜類で登録のある農薬適用表(1) (殺菌・除草)

登録内容は2022年9月1日現在

用途	毒劇	FRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
殺菌剤		BM2	ポトキラー水和剤	発病前～発病初期	—	1,000倍 (150～300g)	100g	灰色かび病、うどんこ病	水和剤	散布 常温煙霧	バチルス ズブチリス	
						300g (6～10g)	—	灰色かび病				
		BM2	エコシヨット	収穫前日まで	—	1,000～2,000倍 (100～300g)	100～50g	灰色かび病	顆粒水和剤	散布	バチルス ズブチリス	
		BM2 M1	クリーンカップ	収穫前日まで	—	1,000～2,000倍 (100～300g)	100～50g	うどんこ病	水和剤	散布	水酸化第二銅、 バチルス ズブチリス	
						1,000倍 (100～300g)	100g	灰色かび病				
		M1	コサイド3000	—	—	2,000倍 (100～300g)	50g	軟腐病、黒腐病、斑点細菌病、褐斑細菌病、	水和剤	散布	水酸化第二銅	
		M1	Zボルドー	—	—	500倍 (100～300g)	200g	斑点細菌病、褐斑細菌病、黒腐病、 軟腐病、べと病、黒斑細菌病	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	ドイツボルドーA	—	—	500～1,000倍 (100～300g)	200～100g	軟腐病、べと病	水和剤	散布	塩基性硫酸銅	
		M1	クプロシールド	—	—	1,000～2,000倍 (100～300g)	100～50ml	べと病、斑点細菌病	フロアブル	散布	塩基性硫酸銅	品目登録がされている場合は、品目毎の適用表に記載。
						1,000～1,500倍 (100～300g)	100～67ml	軟腐病				
		M1 NC	ジーファイン水和剤	収穫前日まで	—	750～1,000倍 (150～500g)	133～100g	うどんこ病(なすを除く)	水和剤	散布	炭酸水素ナトリウム、無水硫酸銅	
						1,000倍 (150～500g)	100g	白さび病、軟腐病(なすを除く)				
		NC	カリグリーン	収穫前日まで	—	800～1,000倍 (100～300g)	125～100g	うどんこ病(トマト、ミニトマトを除く)	水溶剤	散布	炭酸水素ナトリウム	
						800倍 (100～300g)	125g	さび病、灰色かび病(トマト、ミニトマトを除く)				
	NC	ハーモメイト水溶剤	収穫前日まで	—	800倍 (150～300g)	125g	灰色かび病、さび病	水溶剤	散布	炭酸水素ナトリウム		
					800～1,000倍 (150～300g)	125～100g	うどんこ病					
	M2	イオウフロアブル	—	—	500～1,000倍	200～100ml	うどんこ病 (すいか、かぼちゃ、トマト、ミニトマト、ねぎ、 あさつき、わけぎ、いちごを除く)	フロアブル	散布	硫黄		
	—	マスタピース水和剤	収穫前日まで	—	1,000～2,000倍 (100～300g)	100～50g	軟腐病 (だいこん、キャベツ、レタス、非結球レタス、はくさい、 ブロッコリー、しょうが、かぼちゃ、ズッキーニ、トマト、ミニトマトを除く)	水和剤	散布	シュードモナス ロデシア		

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	10a当り使用量	適用雑草	剤型	使用方法	成分名	備考
茎葉除草剤 (非選択性)		ラウンドアップマックスロード	耕起前まで(雑草生育期)	1回 (農薬総使用回数、合せて1回以内)	200～500ml (通常50～100g、少量5～50g)	一年生雑草(えだまめ、はくさい、キャベツ、アスパラガス、レタス、ねぎ、たまねぎ、にんにく、ほうれんそう、にんじん、だいこん、トマト、ピーマン、とうがらし類、きゅうり、なす、びわ(葉)、オリーブ(葉)、たらのぎ、薬用にんじん、いも類、豆類(種実)を除く)	液剤	雑草茎葉 散布	グリホサートナトリウム塩	展着剤不要
		タッチダウンiQ	耕起7日以前 (雑草生育期)		250～500ml (25～50g)	一年生雑草(えだまめ、たらのぎ、はくさい、キャベツ、レタス、ねぎ、たまねぎ、ほうれんそう、にんじん、だいこん、はつかだいこん、アスパラガス、トマト、きゅうり、なす、オリーブ(葉)、ピーマン及びとうがらし類、びわ(葉)、薬用にんじん、てんさい、豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)、かんしょ、ばれいしよを除く)	液剤	雑草茎葉 散布	グリホサートナトリウム塩	展着剤不要
		クサクリーン液剤	耕起又は定植7日前まで (雑草生育期)		250～500ml (通常50～100g、少量25～50g、5～15g)	一年生雑草(えだまめ、キャベツ、はつかだいこん、だいこん、とうがらし類、にんじん、ピーマン、ねぎ、たまねぎ、アスパラガス、オリーブ(葉)、きゅうり、たらのぎ、トマト、なす、びわ(葉)、ほうれんそう、レタス、薬用にんじん、豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)、かんしょを除く)	液剤	雑草茎葉 散布	グリホサートインプロピルアミン塩	展着剤不要
	毒	ブリグロックスL	播種前又は植付前	3回以内	600～1000ml (100～150g)	一年生雑草(レタス、キャベツ、はくさい、カリフラワー、ブロッコリー、ねぎ、だいこん、にんじん、ごぼう、たまねぎ、トマト、きゅうり、すいか、メロン、なす、ほうれんそう、ピーマン、かぼちゃ、アスパラガス、パセリ、ふき、みょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、うど、やまのいも(むかご)、しょうが、にんにく、たけのこ、いちごを除く)	液剤	雑草茎葉 散布	ジクワット、 バラコート	

野菜類で登録のある農薬適用表(2) (殺虫・展着)

登録内容は2022年9月1日現在

用途	毒劇	IRACコード	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	100g調整時薬量	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
殺虫剤		7	ラノーテープ	栽培期間中	1回	10~50m ² /10a		コナジラミ類(施設栽培)	テープ	作物体の付近に設置	ビプロロキシフェン	講習を受けた登録会員のみ使用可。1年ごと完全回収
		—	バストリア水和剤	定植前 定植時	—	1~5kg (150~200ℓ) 0.5g/穴(1ℓ)		ネコブセンチュウ	水和剤	土壌表面に散布し混和 植穴土壌灌注	バスツウリア ペネトランス	
		—	エコピタ液剤	収穫前日まで	—	100倍 (100~300ℓ)	1ℓ	アブラムシ類、コナジラミ類、うどんこ病、ハダニ類(いちご、トマト、ミニトマト、きゅうり、なすを除く)	液剤	散布	還元澱粉糖化物	
		—	粘着くん液剤	収穫前日まで	—	100倍 (150~300ℓ)	1ℓ	アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類、うどんこ病	液剤	散布	ビロキシロピル化脂肪酸糖テンゲン	
		—	オレート液剤	発生初期~収穫前日まで	—	100倍 (100~300ℓ) 100~300倍 (100~300ℓ)	1ℓ 1ℓ~333ml	アブラムシ類 (いちごを除く) コナジラミ類 (いちごを除く)	液剤	散布	オレイン酸ナトリウム	
		—	アカリタッチ乳剤	収穫前日まで	—	1,000~3,000倍 (100~400ℓ) 2,000倍 (100~400ℓ)	100~33ml 50ml	ハダニ類 うどんこ病	乳剤	散布	プロピレングリコール脂肪酸エステル	
		—	ムシラップ	収穫前日まで	—	500倍 (100~300ℓ)	200ml	アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類、うどんこ病	乳剤	散布	ソルビタン脂肪酸エステル	
		—	サンクリスタル乳剤	収穫前日まで	—	300倍 (150~500ℓ) 300~600倍 (150~500ℓ)	333ml 333~167ml	アブラムシ類、コナジラミ類(なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎくを除く) ハダニ類、うどんこ病(なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎくを除く)	乳剤	散布	脂肪酸グリセリド	
		—	フーモン	収穫前日まで	—	1,000倍 (150~500ℓ)	100ml	ハダニ類、アブラムシ類、コナジラミ類、うどんこ病	乳剤	散布	ポリグリセリン脂肪酸エステル	展着剤として使用可
		11A	トアローフロアブルCT	発生初期、但し収穫前日まで	—	1,000~2,000倍 500~1,000倍	100~50ml 200~100ml	アオムシ、コナガ オオタバコガ	フロアブル	散布	BT	
		11A	エコマスターBT	発生初期、但し収穫前日まで	—	1,000~2,000倍 (100~300ℓ) 1,000倍 (100~300ℓ)	100~50g 100g	アオムシ、コナガ オオタバコガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ	顆粒水和剤	散布	BT	
		11A	ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期、但し収穫前日まで	—	1,000~2,000倍 (100~300ℓ) 1,000倍 (100~300ℓ)	100~50g 100g	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ(はくさい除く) オオタバコガ、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ(はくさい除く)	顆粒水和剤	散布	BT	
		11A	ジャックポット顆粒水和剤	発生初期、但し収穫前日まで	—	1,000倍 (100~300ℓ)	100g	コナガ、オオタバコガ、アオムシ、シロイチモジヨトウ(はくさいを除く)	顆粒水和剤	散布	BT	
		—	サフオイル乳剤	収穫前日まで	—	300~500倍 (100~500ℓ) 300倍 (100~500ℓ)	333~200ml 333ml	ハダニ類(いちご、トマト、ミニトマトを除く) チャ/ホコリダニ、コナジラミ類、うどんこ病(いちご、トマト、ミニトマトを除く)	乳剤	散布	調合油	
		—	コンフェューザーV	作物の栽培全期間	—	100~200本/10a (41g/100本製剤) 100本/10a (41g/100本製剤)	— —	コナガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、タマナキンウバ、ヨウガ、イラクサキンウバ シロイチモジヨトウ	—	設置	アルミゲルA・ウワバールA・ダイアモルA ・ビートA・ミルA・リトルA	
		—	コナガコンプラス	作物の栽培全期間	—	100~120本/10a (22g/100本製剤)	—	ヨトウガ、コナガ、オオタバコガ	—	設置	アルミゲルA・ダイアモルA	

◆生物農薬(天敵)については、該当品目の講習会等で使用方法の確認を行います。

用途	毒劇	薬剤名	使用時期	使用回数	倍率又使用量(10a当り)	適用病害虫	剤型	使用方法	成分名	備考
展着剤		ハイテンパワー	—	—	1~2ml/散布液10ℓ (5000~10000倍)	—	—	添加	ホリオキシアルキレン脂肪酸エステル	
		ニーズ	—	—	5~10ml/散布液10ℓ	—	—	添加	ホリオキシエチレン脂肪酸エステル、 ホリナフチルメチルホスホン酸ジアルキルジメチルアンモニウム	
		ササラ	—	—	3.3~5ml/散布液10ℓ (2000~3000倍)	—	—	添加	ホリオキシエチレンアルキルエーテル	
		ワイドコート	—	—	1~3.3ml/散布液10ℓ (3000~10000倍)	—	—	添加	ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム ホリオキシエチレンアルキルエーテル	
		スカッシュ	—	—	5~10ml/散布液10ℓ	—	—	添加	ソルビタン脂肪酸エステル ホリオキシエチレン脂肪酸エステル	
		まくびか ※	—	—	1~3.3ml/散布液10ℓ (3000~10000倍)	—	—	添加	ホリオキシエチレンメチルホリシロキサン	
		ドライバー	—	—	2~10ml/散布液10ℓ (1,000~5,000倍)	—	—	添加	ホリオキシエチレン脂肪酸エステル	

※「まくびか」は強い酸性・アルカリ性の剤(ICボルドー等)と混用すると薬害を生じる恐れがあります。